

平成 31 年 2 月 17 日 (日) 施行

第 193 回 全経簿記能力検定試験 1 級 商業簿記・会計学 解説

第 1 問

1. 企業会計原則注解 [注 5] (1) 前払費用
2. 企業会計原則注解 [注 5] (2) 前受収益
3. 企業会計原則注解 [注 5] (3) 未払費用
4. 企業会計原則注解 [注 5] (4) 未収収益
5. 企業会計原則注解 [注 1 5]
6. 企業会計原則注解 [注 1 8]

第 2 問

1. ×9 年 12 月 25 日より前に支払っているので割引の条件を満たす。

仕入割引 $¥300,000 \times 1.3\% = ¥3,900$

2. 保証債務の時価 $¥100,000 \times 2\% = ¥2,000$

無事決済されたので保証債務を取り消す。

3. 振り出した約束手形は $¥77,500 \times 12 \text{ 枚} = ¥930,000$

備品の購入価額は $¥900,000$ であり、利息は購入時に支払利息で処理されているとある

(借) 備品	900,000	(貸) 営業外支払手形	930,000
支払利息	30,000		

決算日に当座預金からの引き落としと、利息のうち前払分 (9 ヶ月分) を繰り延べる。

4. 発行価額 $¥3,000,000 \times (\frac{¥101.8}{¥100}) = ¥3,054,000$ (打歩発行)

償却額：発行差額 $¥54,000$ を償還期間 3 年で償却する。 $¥54,000 / 3 \text{ 年} = ¥18,000$

利息額：額面 $¥3,000,000 \times 2.0\% = ¥60,000$

5. 内金の受け取り時 $1 \$ = ¥108 \rightarrow$ 前受金： $600 \$ \times ¥108 = ¥64,800$

残額は $\$ 4,000 - \$ 600 = \$ 3,400$

販売時 $1 \$ = ¥110$ 外貨建売掛金 $\$ 3,400 \times ¥110 = 374,000$

6. 資本準備金 $¥300,000$ と利益準備金 $¥200,000$ を資本金に振り替える。

第3問

(4) 総資産額

① 経常利益 33,500 千円より

$$ROA = \frac{\text{経常利益}}{\text{総資産}} \times 100 = \frac{33,500 \text{ 千円}}{? \text{ 千円}} \times 100 = 6.7\%$$

総資産額 : 33,500 千円 / 6.7% = 500,000 千円

(3) 流動負債合計額

⑤ 自己資本比率 44.7% と総資産額より

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資産}} \times 100 = \frac{? \text{ 千円}}{500,000 \text{ 千円}} \times 100 = 44.7\%$$

自己資本額 : 500,000 千円 × 44.7% = 223,500 千円

これと② 固定負債合計額 123,000 千円より

$$\begin{aligned} \text{流動負債合計額} &= \text{総資産額 (総資本額)} - \text{自己資本額} - \text{固定負債額} \\ &= 500,000 \text{ 千円} - 223,500 \text{ 千円} - 123,000 \text{ 千円} = 153,500 \text{ 千円} \end{aligned}$$

(1) 流動資産合計額

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = \frac{? \text{ 千円}}{153,500 \text{ 千円}} \times 100 = 85.6\%$$

流動資産合計額 : 153,500 千円 × 85.6% = 131,396 千円

(2) 固定資産合計額

流動資産合計額 + 固定資産合計額 = 総資産額より

固定資産合計額 : 500,000 千円 - 131,396 千円 = 368,604 千円

第4問

問題文より、合併期日における阿倍野会社の諸資産の時価は 96,300 千円、諸負債は 62,100 千円であり、合併交付金 1,200 千円が支払われている。

また、増加資本の額は

$$4 \text{ 千円} \times 10,000 \text{ 株} = 40,000 \text{ 千円}$$

である。また、このうち 2 分の 1 を資本金とし、他を資本準備金とするので、合併仕訳は以下のとおりとなる。

(借) 諸 資 産	96,300	(貸) 諸 負 債	62,100
		諸資産(現金)	1,200
		資 本 金	20,000
の れ ん	7,000	資 本 準 備 金	20,000

第5問

〔資料2〕 検討事項

1. 銀行勘定調整

(1) 時間外預入れ 仕訳なし

(2) 連絡未通知

(借) 当座預金	400	(貸) 売掛金	400
----------	-----	---------	-----

(3) 未取付小切手 仕訳なし

(4) 未渡小切手

(借) 当座預金	600	(貸) 未払金	600
----------	-----	---------	-----

銀行勘定調整表

当座預金勘定残高		残高証明書残高	
当座預金勘定残高	294,000	残高証明書残高	295,240
(加算)		(加算)	
(2)連絡未通知	400	(1)時間外預入	960
(4)未渡小切手	600	(減算)	
(減算)		(3)未取付小切手	1,200
	<u>295,000</u>		<u>295,000</u>

2. 仮払金の処理

(借) 仮払法人税等	18,000	(貸) 仮払金	31,280
仮払消費税	13,000		
退職給付引当金	280		

3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	20,060	(貸) 償却債権取立益	60
		仮受消費税	20,000

〔資料3〕 決算整理事項

1. 受取手形と売掛金の期末残高は 13,020 千円 + 30,380 千円 - 400 千円 = 43,000 千円

貸倒引当金は 43,000 千円 × 2.0% = 860 千円

残高試算表の貸倒引当金残高は 620 千円なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	240	(貸) 貸倒引当金	240
-------------	-----	-----------	-----

2. 有価証券の評価替え

決算整理前の有価証券残高 50,900 千円のうち所有目的の内訳は、取得原価より

売買目的 40,900 千円

その他 10,000 千円 → 投資有価証券勘定へ振替

(借) 投資有価証券	10,000	(貸) 有価証券	10,000
------------	--------	----------	--------

【売買目的】

江戸川会社株式 (1.33 千円 - 1.45 千円) × 10,000 株 = △1,200 千円 (評価損)

木曾路会社株式 (1.00 千円 - 0.88 千円) × 30,000 株 = 3,600 千円 (評価益)

(借) 有価証券	2,400	(貸) 有価証券評価益	2,400
----------	-------	-------------	-------

【その他】

越前会社株式 (21.00 千円 - 20.00 千円) × 500 株 = 500 千円 (評価益)

(借) 投資有価証券	500	(貸) その他有価証券評価差額金	500
------------	-----	------------------	-----

貸借対照表 有価証券 : 40,900 千円 + 2,400 千円 = 43,300 千円

投資有価証券 : 10,000 千円 + 500 千円 = 10,500 千円

3. 期末商品の評価

@18.0 千円

@17.4 千円

商品評価損	棚卸減耗費
A 商品	

棚卸減耗費

@18.0 千円 × (3,000 個 - 2,990 個) = 180 千円

商品評価損

(@18.0 千円 - @17.4 千円) × 2,990 個 = 1,794 千円

2,990 個 3,000 個

@5.0 千円

@5.1 千円

商品評価損なし	棚卸減耗費
B 商品	

棚卸減耗費

@5.0 千円 × (6,000 個 - 5,950 個) = 250 千円

商品評価損

なし

5,950 個 6,000 個

帳簿棚卸商品

A 商品 18.0 千円 × 3,000 個 = 54,000 千円

B 商品 5.0 千円 × 6,000 個 = 30,000 千円

棚卸減耗費...180 千円 + 250 千円 = 430 千円

商品評価損...1,794 千円

} 84,000 千円

(借) 仕入	92,500	(貸) 繰越商品	92,500
繰越商品	84,000	仕入	84,000
棚卸減耗費	430	繰越商品	430
商品評価損	1,794	繰越商品	1,794

貸借対照表 商品 : 84,000 千円 - 430 千円 - 1,794 千円 = 81,776 千円

4. 減価償却

建物 (定額法) 耐用年数 40 年 残存価格ゼロ

(50,000 千円 - 0 千円) / 40 年 = 1,250 千円

(借) 減価償却費	1,250	(貸) 建物減価償却累計額	1,250
-----------	-------	---------------	-------

備品 (定率法) 耐用年数 8 年 償却率 0.250

(2,880 千円 - 720 千円) × 0.250 = 540 千円

(借) 減価償却費	540	(貸) 備品減価償却累計額	540
-----------	-----	---------------	-----

車両運搬具（生産高比例法） 残存価額 取得価額の 10% (150 千円)

$$(100 \text{ 千円} - 10 \text{ 千円}) \times (12,000 \text{ km} / 120,000 \text{ km}) = 9 \text{ 千円}$$

(借) 減価償却費	9	(貸) 車両運搬具減価償却累計額	9
-----------	---	------------------	---

貸借対照表 減価償却累計額：35,037 千円

$$(\text{建物}) 32,500 \text{ 千円} + 1,250 \text{ 千円} = 33,750 \text{ 千円}$$

$$(\text{備品}) 720 \text{ 千円} + 540 \text{ 千円} = 1,260 \text{ 千円}$$

$$(\text{車両運搬具}) 18 \text{ 千円} + 9 \text{ 千円} = 27 \text{ 千円}$$

損益計算書 減価償却費：1,250 千円 + 540 千円 + 9 千円 = 1,799 千円

5. 商標権償却

耐用年数 10 年 (120 ヶ月) のうち前期末で 3 年 10 か月 (26 ヶ月) 償却が終わっている。

残高試算表の商標権残高 222 千円を 6 年 2 か月 (74 ヶ月) で償却

$$222 \text{ 千円} / 74 \text{ ヶ月} = 3 \text{ 千円}$$

当期の償却額は 3 千円 × 12 ヶ月 = 36 千円

(借) 実用新案権償却	36	(貸) 実用新案権	36
-------------	----	-----------	----

貸借対照表 商標権：222 千円 - 36 千円 = 186 千円

損益計算書 商標権償却：36 千円

6. 退職給付

(借) 退職給付費用	300	(貸) 退職給付引当金	300
------------	-----	-------------	-----

損益計算書 退職給付費用：300 千円

7. 借入金の利息

$$1 \text{ ヶ月の利息額は } (4,000 \text{ 千円} \times 1.2\%) / 12 \text{ ヶ月} = 4 \text{ 千円}$$

決算日は借入から 5 ヶ月経過 → 5 ヶ月分が未払利息

(借) 支払利息	20	(貸) 未払利息	20
----------	----	----------	----

損益計算書 支払利息：20 千円

8. 費用の繰延

向こう 1 年分 (12 ヶ月) 支払の保険料 480 千円 → 40 千円 / 月

来期 9 ヶ月分の前払い

(借) 前払費用	360	(貸) 保険料	360
----------	-----	---------	-----

貸借対照表 前払費用：360 千円

損益計算書 保険料：480 千円 - 360 千円 = 120 千円

9. 法人税の計上

(借) 法人税等	40,000	(貸) 仮払法人税等	18,000
		未払法人税等	22,000